

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、団体の宴会も増えてきている。
	◎	観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・依然として、新型コロナウイルス禍ではあるものの、人流は確実に増えている。
	◎	都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・徐々にだが、個人の宿泊だけではなく、法人の会合等の予約も増えてきている。
	◎	都市型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・ここ数週間の来客や販売数の動きをみると、一過性かもしれないが、宿泊は、新型コロナウイルス以前の状態に戻ってきている。それとは対極に、料飲部門は相変わらず低調なままで、ホテル内でも二極化になっているため、総合的にはやや良いと判断している。
	○	一般小売店〔土産〕 （経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株が流行し始めた3か月前と比較すると、今月の景気はやや良くなっている。新年度が始まり、早いところでは修学旅行を実施する学校もあるようである。「県民割」も始まり、少しずつではあるが、客が戻りつつある。しかし、新型コロナウイルス前と比べると、3割程度の売上にしかなっていない。
	○	一般小売店〔青果〕 （店長）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたことで、飲食店、ホテル等の注文が増えている。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は高水準で推移しているものの、前月のまん延防止等重点措置解除以降、来客数は増加傾向にある。また、気温の上昇とともにアパレルも堅調に推移している。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年を超える日が多くなっている。ただし、その増加傾向はまだ売上増加に直結してはいない。また、夕方の顧客滞留時間もいまだ低位である。
	○	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・全体的に来客数が増えてきている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・4月は新社会人や学生の動きがあったが、新型コロナウイルス前に比べて新人研修等が少なかった印象である。当店はリニューアルのため、5日間休業したことに伴い、商材の売り減らしを行ったため、前年比87%の売上だったが、営業時は102%で推移している。
	○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は久々に前年実績を107%でクリアしている。単籠もり需要の継続や海外工場所在地のロックダウン等による部材遅延での生産遅延報道で、客の購買がおおられたのが要因か。好調な商材は冷蔵庫、洗濯機、レンジで、2けたの伸びである。また、スマートフォンも前年比156%と好調である。
	○	乗用車販売店 （販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの規制が少し緩和されてきたようなので、2～3か月前と比べて、来客数が多くなっている。車検や中古車、新車販売等で、来店する客が多くなっているため、少しずつ良くなってきていると感じている。
	○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・季節的な要因もあるが、県内外から大勢の観光客がきている。新型コロナウイルスの感染対策をしながらではあるが、少しずつ元に戻ってきた感がある。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・地域ブロック対象の県民割が再開され、週末を中心に需要が持ち直してきている。ただし、新型コロナウイルス新規感染者数は下降傾向にはあるものの、感染者数減少は今一つ下がりきっていない点が、少々懸念材料ではある。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークを始めとして、夏休み等の依頼が増えてきている。
○	テーマパーク （職員）	来客数の動き	・前年に比べて、新型コロナウイルスの新規感染者数が多くても、まん延防止等重点措置等が適用されていないこともあり、来園者数が増えてきている。	
○	設計事務所（所長）	販売量の動き	・建設関係は公共工事発注件数が若干増加しており、上向きとなっている。飲食サービス業では客足は増えているものの、宴会等の自粛もあり、上向いてはいない。	

○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・価格高騰が続いているものの、客は消費を控える物もあれば、機会を逃すことなく行動する場合もある。
○	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、海外からの渡航が可能となって、就労の外国人が社宅として賃貸物件を成約している。多少、良くなっていく傾向にある。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されたことで来街者は増えている。ただし、原材料価格の大幅値上げと電気料金の値上げで、利益が出ない小売業の景気は低迷から抜け出せない状態である。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・物の値上げが身に染みてきている。皆、買物も控えめにしている。まん延防止等重点措置が解除になって、人の動きが良くなると思っていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者が減少しないので、人寄せもできない。客の動きは悪いが、ゴールデンウィークに期待したい。
□	百貨店（店長）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置解除となったものの、県内の新型コロナウイルス新規感染者数が余り減少せず、売上、来客数の回復は鈍い。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・20～30代の客、特に観光客が、以前より増えてきたようである。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除となったが、当社の主要顧客であるシニア層は、いまだに活動の鈍い状態が続いている。40～60歳代は動きがみられるようになってきている。今一番の課題は、メーカーからの商材入荷がいまだに改善されないことである。その他にも、秋以降は販売価格が10～20%上がる物が増えてきている。じわじわと戦争や新型コロナウイルスの影響が出てきている。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・少人数での宴会が少しずつ増加している。
□	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・春になってもまだ新型コロナウイルスを警戒しているような感じを受けている。ゴールデンウィークを控えて出費を抑えているのかもしれない。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・新年度の新規受託先状況について、事業所給食部門では、例年どおり、幼稚園や保育園、介護施設、学校給食等の受託ができています。レストラン部門は、ビジネスホテルチェーンから朝食提供の委託を受けたが、現状では稼働率、喫食率が新型コロナウイルス以前に回復しておらず、当面は厳しい状況が続くものとみられる。
□	タクシー（経営者）	お客様の様子	・4月後半より動きが良くなってきたが、新型コロナウイルス前の同月と比べて8%の減少である。
□	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる地方経済への影響は、終わりがみえない。個人店や中小企業からの広報依頼は、いまだ皆無である。
□	通信会社（局長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、支払が滞り、相談を受けるケースが増えてきている。
□	競輪場（職員）	来客数の動き	・新年度になったが、来場者数に余り大きな変化はない。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが少し落ち着いてきたような感じもするが、いまだに街は活気を満たしていない。特に、夜のスナックや食堂は、まだまだ暗い状況である。我々の不動産業界も、今は動きが若干止まっているような感じがする。引き合いは少なく、特に、法人関係の事務所の動きが全くない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	単価の動き	・様々な材料が徐々に値上がり、今までの価格よりも高額になってしまい、客側は決め手に欠けている。その上、相変わらず材料や部材の調達期間も長く、決定するまでに四苦八苦している。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・元々が悪い状況だったので、当店の売上は若干良いものの、この先の円安と物価高を考えると、悪くなるのは目に見えている。
▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・売上が低下し、やや悪くなっている。

	▲	百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・近郊の商圏エリアに複合施設がオープンし、地域初のショップが出店する等、当店の来客数減少に結び付く環境がある。
	▲	スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・売上、来客数共に前年比90%台前半となっているが、価格訴求を行った際は、来客数は増えるものの、目玉商材以外の買上点数は伸びず、厳しい状況が続いている。
	▲	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・当店の顧客は高齢者がほとんどである。今月は年金支給月だったが、現状の新型コロナウイルス新規感染者の高止まり状況を考慮してだと思いが、客が本当に出てこない。来店数が本当にゼロに近く、どうしようもない。
	▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍やロシアのウクライナ侵攻等で、先行きを心配してか、法人、個人を問わず、車の話題が盛り上がらない。
	▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中国でロックダウンが実施されて半導体が供給不足となり、新車生産の遅延が生じ、新車の登録、販売ができない状況が続いている。4～5月への納期変更や新車の在庫車両不足が続いている。
	▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・4月に入って、例年どおり若干一息ついて、販売も下がってはいる。特に盛り上がるとかこれから良くなるという特徴はないものの、ずっと我慢をされていて、いきなり車を購入したり、遊び的な車を買ったりというような傾向が感じられる。
	▲	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの特需も少しずつなくなり、来客数が前年を下回ってきているため、やや悪くなっている。
	▲	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・消費に対してネガティブな要素が重なっている。新型コロナウイルスの感染状況の高止まりや連日のウクライナ情勢の報道、あるいは値上げの連鎖で、特に、レジャー関係への支出が抑えられており、来客数に影響を与えている。
	▲	通信会社（営業担当）	単価の動き	・ウクライナ情勢の影響を受け、食品や原油等の原材料価格高騰により、物価高が消費に影響を及ぼしている。
	▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販路を増やして拡販に努めているが、前年同月を2割も下回っている。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・日銀は米国の景気鈍化を横目でにらむだけで、金利政策は八方塞がりの状態で成す術がない。可処分所得が一向に増えない現況では、消費税減税で景気の下支えが必要な時期にあると考える。検討するとお題目のように言うだけでは国民からそっぽを向かれる。
	▲	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・1台当たりの売上をみると、前月比マイナス7%の落ち込みが続いている。
	×	その他飲食 〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・ここ3か月ほどで、1日の来客数が1割くらい減っている。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・4人を超える人数での会食禁止等の自粛要請により、飲食客が激減している。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・依然として、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が高止まりしている。当市でも毎日50人前後の新規感染者がいる。飲食店にも客が少なく、電車に乗ってくる客も少ないままで増えず、タクシー利用客も少ないままである。
	×	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・4月より食料品やガソリン等の必需品が値上がりしており、客は買い控えている。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—	—
	○	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・4月以降、値上げや納期未定になる前に修繕を行いたいという相談が少し増えている。できれば今月中に完了したいという希望もあり、少しではあるが売上が伸びている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も受けずに、稼働している。

	□	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先では、トラック関係の仕事の受注がストップしているということで、全く予測ができない感じである。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量や取引先の様子は、前月辺りと余り変わらない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・気温の高い日が続き、夏物家電のエアコン、サーキュレーター、扇風機等やレジャー用品等は、前年並みの物量を確保している。しかし、ウクライナ情勢や円安による原油や燃料価格の高騰、その他のコスト上昇により、利益は薄くなっている。
	□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自粛傾向は変わらない。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告宣伝の予算がないという回答がほとんどで、何も変わらず悪い状態のままである。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせて、県内企業のマインドは通常に戻りつつある雰囲気になっている。飲食店や商店に出向く人の流れも徐々に増えつつあるが、地域全体が押し上げられるまでには至っていない。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・何か月前と比べてもほとんど変わらないが、ほんの僅かに上がったりがったり下がったりしていて、今月はやや下がり気味である。ただし、全体としてみれば変わらないというところである。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・経済活動は戻りつつあるが、材料価格高騰分の転嫁が進まず、業績は厳しい。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・自動車生産ラインの停止が頻発している。生産ライン停止の情報は直前に出るため、サプライチェーンに多大な悪影響が出ている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスから回復しつつあると感じており、受注も増えてきたが、ロシアとウクライナの戦争ということで、ちょっと皆が加減し始めた感じが出てきて、受注量もかなり落ち込み始めている。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占め建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、現政権まで、公共工事は順調に推移している。我が国は自然災害が多く発生し、中越地震、東日本大震災、熊本地震等、常に災害が生じる国である。災害発生時、建設業者は我を顧みず復旧工事にまい進する。当県は衆参両議員、知事、市長いずれも長期に就任しているため、本当の意味で、国民、県民を一番に考えて行動しているとは残念ながら思えない。今期公共工事は前年比85%と厳しく、当社受注も前期比10%減の受注となっている。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣求人依頼が安定しているほか、中途採用についても職種を問わず、依頼が増加してきている。
	○	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・製造派遣の求人が多くなったため、やや良くなっている。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・いまだ新型コロナウイルス禍ではあるが、学校としてもできる行事を少しずつ実施する方向で検討している。先日も、細心の注意を払いながら宿泊研修を実施している。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・衣替え時期である新学期や新入学等で、衣料品の伸びが結構良かったようである。季節的な野菜や食料品等は幾分高めだが、家飲みや家での料理に向けて購買力はあった。年度替わり等もあり、土木、公共事業関係は少し活発さがみられる。
	□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人数も若干増えているが、求職者数が増加傾向にあるので、景気が良いとはいえない。
	▲	*	*	*
×	*	*	*	